

基礎交付金事業実績書

団体名：浅水コミュニティ運営協議会

1 総事業費 1,516,207 円

2 事業内容

(1) 事業名 ふれあい夏まつり事業

事業費	29,732 円
事業内容	<p>◆ふれあい夏まつり（中止・準備）</p> <p>開催日：8月7日（日）中止</p> <p>会場：浅水農村公園</p> <p>内容：ステージ演舞・子ども縁日・めんこいゆかたっ子コンテスト・盆踊り・抽選会を企画。</p>
事業成果	<p>・新型コロナウイルス感染拡大予防策を考慮し、準備に係るが感染者数の増加により、1週間前に中止の決定となった。</p>

(2) 事業名 こいのぼり掲揚

事業費	4,642 円
事業内容	<p>◆こいのぼり掲揚</p> <p>開催日：4月2日（土）～5月6日（金）</p> <p>会場：浅水農村公園</p> <p>参加者：10名</p> <p>内容：こいのぼり掲揚数 約100旒</p> <p>登米市広報等で発信し、登米市内全域から使われなくなったこいのぼりを寄付していただき、行政区長と職員で掲揚している。</p>
事業成果	<p>・こどもの成長を願い、通学路の側、浅水農村公園にこいのぼりを掲揚し、地域の活性化を図った。親子で公園で遊ぶ姿も多く見られた。また、市内各方面からのこいのぼりの提供があった。</p>

(3) 事業名 コミュニティまつり事業

事業費	333,981 円
事業内容	<p>◆第51回浅水コミュニティまつり</p> <p>開催日：10月30日（日）</p> <p>会場：浅水ふれあいセンター屋外特設ステージ</p> <p>参加者：約600名（あさみずばざーると同時開催）</p> <p>内容：特別ゲスト フラサークルマハロ、舞姿道みろく、熊谷流による演舞。</p> <p>子ども縁日など地域高校生ボランティアによる輪投げや地域企業様支援の着ぐるみやゲーム。ハロウィン仮装大会の実施。</p>

事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・特別ゲストの演舞 地域で活躍する団体の演舞を披露することで来場者の増員を促した。 ・子ども縁日 地域の高校生ボランティアによる輪投げ広場と地域企業様持ち込みのゲームや着ぐるみなどで来場の子供たちを喜ばせることができた。 ・「あさみずばざー」同時開催（地域づくり） ハンドメイドなど約 30 の出店者を集め、ケータリングカーも複数の出店があり、地域外からの来場も多く見られた。 ・ハロウィン仮装大会の実施 ハロウィンの仮装をしてきた方に記念品贈呈。上記出店者・事務局も仮装することでコミュニティまつりを盛り上げた。
------	--

(4) 事業名 奉仕作業

事業費	18,771 円
事業内容	<p>◆ふれあいセンター周辺の奉仕作業 開催日：5月～10月（年5回実施） 会 場：浅水ふれあいセンター周辺・農村公園 参加者：199名（5回実施計） 内 容：草取り・草刈り・農村公園整備</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンター周辺や農村公園を各行政区が輪番で奉仕作業を行うことで地域の景観保全、地域コミュニティの繋がりが図れた。

(5) 事業名 コミュニティ組織運営

事業費	408,539 円
事業内容	<p>◆コミュニティ運営事業の充実を図る為、また組織の活動の継続発展を目的に運営会議地域づくり会議等の開催。地域づくり研修会等への参加。コミュニティ運営会議、地域づくり部会会議、研修会等の参加旅費、研修費、時間外手当</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、運営会議等は3密対策を行っての開催。昨年に引き続きコロナ禍での事業の見直し、新規事業の企画・開催により事業運営にかかわる調整・決定を行うことができた。

(6) 地域づくり事業

事業費	701,742 円
事業内容	<p>◆歌声喫茶 開催日：毎月第3土曜日開催 会 場：浅水ふれあいセンター 参加者：63名（12回開催計） 内 容：昭和歌謡・童謡・唱歌等を講師のギター伴奏にあわせて歌うことで、健康増進・ストレス解消フレイル対策につながった。</p> <p>◆北上川土手清掃作業</p>

開催日：3月11日（土）

会 場：ふれあいセンター側の北上川土手

参加者：21名

内 容：地域住民ボランティアと(株)ダイナム従業員が地域貢献として北上川土手のゴミ拾いを実施し、地域の景観の向上と地域愛を育んだ。

◆浅水ふれあいセンター周辺の環境整備

内 容：花壇の春・秋の植え替え・追肥・害虫駆除

◆シニアグラウンドゴルフ大会

開催日：10月15日（土）

会 場：浅水ふれあいセンター 農村公園

参加者：70名

内 容：60歳以上であれば誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会、高齢者の親睦と普及。

◆奥の細道バスツアーの開催

開催日：6月26日（日）、6月27日（月）2回開催

会 場：河北町～登米市 史跡見学等13か所立寄り

参加者：25名（2回開催計）

内 容：俳人松尾芭蕉の登米行脚333年を記念して芭蕉の足跡をたどるツアーを地元ボランティアガイドによる説明付きで開催。市内全域より参加申込があり、好評を得た。333年をもって終了。

◆K-pop ダンス無料体験会

開催日：6月23日（木）、9月1日（木）2回開催

会 場：浅水ふれあいセンター 多目的ホール

参加者：32名

内 容：BTS『Dynamite』さび部分の指導。地域サークル支援のきっかけづくり
令和5年1月からサークル化・本格始動

◆健康長寿教室の開催

開催日：11月24日（金）

3月17日（水）2回開催

会 場：浅水ふれあいセンター

参加者：24名（2回開催計）

内 容：外部講師によるラフターヨガ教室

バランスのよい食事のとり方、フレイル予防のための栄養講話・脳トレ、ラフターヨガ。

フレイル予防・認知症予防としてe-sports協会によるe-sports（リズムゲーム・ボーリング）の紹介と体験

◆公用車（福祉車両）の無料貸し出し

内 容：車椅子を使ってしか移動できない家族を持つ方への通院手段として福祉車両機能をもった公用車の無償貸し出し支援を行った。

件 数：貸出し11件（4家庭）

◆デマンドタクシー実証運行の実施

内 容：交通弱者・免許返納者等の移動手段の確保のため、運行事業。また、令和5年度からの継続のため、チラシ・うちの全戸配布等を行った。毎月の事務処理、各行政区長・地域づくり委員による利用対象者への推進。

◆子育て世代のための事業

開催日：2月18日（土）

会 場：浅水ふれあいセンター 多目的ホール

参加者：42名（親子13組）

内 容：未就学児子育て世代の孤立を防止・仲間づくり。情報交換のため集まるきっかけづくりとしてプロのカメラマンによる撮影会を開催。多目的ホールに複数の撮影スポットを設営。待機のためのカフェスペース設営。

◆市・マルシェ事業

開催日：10月29日（日）

会 場：浅水ふれあいセンター 農村公園

参加者：600名（コミュニティまつり同時開催）

内 容：地域に「にぎわい」と「人・事・物の交流」を生み出すため「あさみずばざーる」を企画。地域内外から出店者を募り、約30店舗出店（浅水米・地域内企業参加）。

◆こども体験事業

開催日：3月31日（金）

会 場：浅水ふれあいセンター 多目的ホール

参加者：75名

内 容：子どもたちの進学・進級祝として「マジック&ゲームお楽しみ会」を企画。

第1部：マジックショーはマジシャンによる参加体験型マジック鑑賞

第2部：ボードゲームとe-sportsはボードゲームを購入・ボードゲームマスターによる遊び方の説明とe-sports協会による昔ゲームの体験。

◆ホームページ管理

内 容：毎月の集落支援員活動報告、事業の開催案内

開催結果報告等を浅水ふれあいセンターHP FBを用い情報提供、常に新しい情報の更新を行った。

◆LINE公式アカウントの導入

内 容：令和5年度からの導入に向けて公式アカウント・リッチメニューの構築を業者（BANSOU）に依頼。納品後・レクチャーを受け、導入のための準備にかかる。部会・講座の案内・とりまとめ、独居老世帯などの見守りに活用予定。

事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の事業開催のため体育事業の開催ができなかったが、それ以外は地域づくり計画に沿った活動を参加人数の制限等、感染予防対策を徹底し行うことができた。 ・K-pop ダンス無料体験会では地域住民の需要を諮り、Hip-hop ダンス教室サークル化の支援となった。 ・健康長寿対応事業では e-sports 推進を行い、ミニデイなどで利用、フレイル予防・認知症予防の一案を提供できた。 ・デマンドタクシー運行事業では地域住民への徹底周知の為うちわを全戸配布し、令和5年度からの運行継続を達成した。小学生の下校にも利用され、今後益々増えると思われる免許返納者等の交通弱者の交通手段の確保に向け、勧誘活動を推進し、地域の課題解決、活性化を図っていききたい。 ・既存事業に加えた「あさみずばぎーる」ではコミュニティまつり・子ども縁日と同時開催し、老若男女が楽しめる仕組みを図る。「あさみずばぎーる」は今後も継続開催をすることで、地域住民の出店を増やしていききたい。また、コロナ感染予防の為、これまでの住民によって行われていた飲食の提供が難しい事の代案としてケータリングカーの出店で補うことができた。 ・子ども体験事業で購入したボードゲームは今後、世代間交流と子供たちのコミュニケーション能力の向上のため推進していききたい。 ・子育て世代のための事業では未就学児子育て世代の孤立防止・地域の子育てサポートボランティアの育成につながった。
------	---

(7) 地域活性化事業

事業費	18,800 円
事業内容	<p>◆自治組織等への活動奨励金の支出</p> <p>内 容：自治組織等が行う組織内の地域づくり活動・課題解決の円滑化を図る。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動奨励金を活用し、地域のミニデイの活性化のため、要望のあった備品を購入。 ・行政区環境保全活動効率化のために除草剤を購入。